

●2012月10月1日 上廣こころ学
研究部門特任准教授に熊谷誠慈(京都女
子大学発達教育学部専任講師/仏教学
・チベット学)が着任。

●10月4日 第3回京都大学ブータ
ン研究会(於:稲盛財団記念館2階
225会議室)。発表:熊谷誠慈「ブータ
ンの歴史と仏教」、コメンテーター:小
西賢吾(日本学術振興会特別研究員
PD・大谷大学)。

●10月4日 第6回身心変容技法研
究会「シャーマニズム/修験道におけ
る身心変容技法」(於:稲盛財団記念館
3階中会議室)。発表1:アルタンジ
ョラー(こころの未来研究センター・
ワザ学共同研究員・科学研究協力者/
文化人類学)「モンゴルのシャーマニズ
ムにおける身心変容技法」。発表2:
奥井遼(こころの未来研究センター上
廣こころ学研究部門特定研究員/教育
学)「出羽三山・羽黒修験の身心変容技
法」、総合討論・司会進行:鎌田東二。

●10月18日 第2回ブータン文化講
座「イエズス会宣教師の見たブータン
—仏教とキリスト教」(於:稲盛財団
記念館3階大会議室)。講演:ツェリ
ン・タシ(ブータン王立自然保護協会、
RSPN)、通訳・解説:今枝由郎(フラ
ンス国立科学研究センター、CNRS)、
コメンテーター:熊谷誠慈。

●10月20日 第1回こころを整える
フォーラム「沖縄久高島と京都の中学
生の『地元文化自慢授業』」(於:稲盛
財団記念館3階大会議室)。趣旨説
明:鎌田東二、挨拶:兼島景秀(沖縄
県南城市立久高小中学校長)。久高中
学校(沖縄県南城市久高島)の生徒に
よる「島自慢授業」、西賀茂中学校(京
都市北区)・和知中学校(京都府船井
郡京丹波町)の生徒による「地元文化
自慢授業」。コメンテーター:やまだよ
うこ(京都大学名誉教授・立命館大学
特別招聘教授/発達心理学)、閉会挨
拶:新宮雅之(京都府京丹波町立和知
中学校長)、司会:鎌田東二。〈特別関
連企画〉記録映画上映『久高オデッセ

イ第二部 生章』(大重潤一郎監督作品)。

●11月1日 ジェニファー・クロッカー
博士講演会 Jeniffer Crocker (Professor
and Ohio Eminent Scholar, Ohio State
University) “The Constructed Self: The
Costly Pursuit of Self-Esteem and
Other's Regard” (於:稲盛財団記念館
3階大会議室)。司会進行:内田由紀子。

●11月7日 第14回わく・湧く・ワー
クショップ「イメージワークとメディ
テーションのタベ」(於:京都大学稲盛
財団記念館3F小会議室1)。

●11月13日 「平成24年度関西・広島
フィールドワーク」のため開智中学校
(埼玉県さいたま市)の生徒がセンター
を訪問。震災とこころのケアに関する
センターの取り組みについて、畑中千
紘上廣こころ学研究部門助教、長谷川
千紘上廣こころ学研究部門研究員のレ
クチャーを聴講。

●11月25日 京都府/京都大学こ
ころの未来研究センター共同企画シン
ポジウム「ワザとこころ」パートII—
祇園祭から読み解く(於:稲盛財団記
念館3階大会議室)。趣旨説明:鎌田
東二。映画上映『京都歳時記 祇園
祭』(大重潤一郎監督)。基調講演:脇
田晴子(滋賀県立大学名誉教授・石川
県立歴史博物館館長・文化勲章受章
者)「祇園祭から見るワザとこころ~祇
園祭の世界観」、報告1:橋本正明(八
坂神社権禰宜)「祇園祭の神事」、報告
2:吉田孝次郎(公益財団法人祇園祭山
鉾連合理事長)「祇園祭の山鉾巡行に
ついて」。パネルディスカッション・司
会進行:鎌田東二。

●11月29日・30日 3rd International
Symposium on Prefrontal Cortex-
Searching for Mechanism of Mind:第3
回前頭前野国際シンポジウム—こ
ころの仕組みを探し求めて(於:稲盛財団記
念館3階大会議室)。Organizer:
Shintaro Funahashi, Satoru Otan (i
Université Pierre et Marie Curie-Paris
6 France), Yukiori Goto (McGill
University, Canada)。

●12月4日 第4回京都大学ブータ
ン研究会(於:稲盛財団記念館2階
225会議室)「Bhutan Transport 2040
を紐解く」。発表:塩見康博(立命館大
学理工学部専任講師)、コメンテータ
ー:中嶋智之(京都大学経済学研究所
教授)。

●12月6日 第7回身心変容技法研
究会「『吾に辱(はじ)見せつ』を考
える—『負の感情』の発生と鎮め方」
(於:稲盛財団記念館3階中会議室)。
発表1:鎌田東二「『古事記』からの
アプローチ」、発表2:高見友理(島
根大学教育学部附属教育支援センター
講師)「臨床心理学からのアプローチ」、
総合討論・司会進行:鎌田東二。

●12月15日 こころの未来研究セン
ター研究報告会2012「こころを知り未来
を考える—感情と身体」(於:稲盛財
団記念館3階中会議室、ポスター会場
は大会議室)。挨拶:吉川左紀子、研究
報告:船橋新太郎「ものの好みはなに
で決まる?」、カール・ベッカー「看護
師の燃え尽き:こころが職場に及ぼす
影響」、鎌田東二「『はじ』の文化」再
考—『古事記』からルース・ベネデ
ィクトまで」。指定討論:加藤忠史(理
化学研究所脳科学総合研究センター、
シニア・チームリーダー/精神医学、
脳科学)。総合討論(本誌34~39頁参
照)。

●12月18日 第8回身心変容技法研
究会「教育と身心変容技法」(於:稲盛財
団記念館3階大会議室)。発表1:鈴木
晶子(京都大学大学院教育学研究科教授
/教育学)「わざの学習・学習のわざ」、
発表2:川口陽徳(東京大学大学院教育
学研究科博士課程/教育学)「『関係』を
めぐる攻防—『わざ』の継承を支える
『三者関係』」、総合討論・司会進行:
鎌田東二。

●12月26日・27日 こころの科学集
中レクチャー2012「fMRI研究の基礎と実
際」(於:稲盛財団記念館3階大会議
室)。講師:定藤規弘(自然科学研究機
構生理学研究所大脳皮質機能系心理生

理学研究部門教授)。

●2013年1月 阿部修士上廣こころ学
研究部門特定助教が平成24年度生理研
究会でトラベルアワードを受賞。

●1月7日 スティーブン・ハイネ教授
(ブリティッシュコロンビア大学/Dr.
Steven J. Heine, Professor of Psychology,
University of British Columbia, Canada)
が来日。2013年7月26日まで滞在。

●1月25日 アーサー・ザイエンス博
士講演会(於:稲盛財団記念館3階中会
議室)。Dr. Arthur Zajonc (Mind and
Life Institute, USA) “The Mind & Life
Institute: Twenty-five years of
Interdisciplinary Dialogue and
Research on the Nature of Mind,
Consciousness and Reality.” 挨拶:吉
川左紀子。司会進行:熊谷誠慈。

●1月30日・31日 第9回/第10回
身心変容技法研究会(於:稲盛財団記
念館3階中会議室)。第9回「ベルク
ソンと身心変容技法」、発表:篠原資明
(京都大学人間・環境学研究科教授/
美学、詩人)「あいだ哲学で語るベルク
ソン」、指定討論:棚次正和(京都府立
医科大学医学研究科教授/宗教哲
学)、総合討論・今年度の総括。司会進
行:鎌田東二。第10回「芸能と身心変
容技法」(一般公開)、基調講演:松岡
心平(東京大学大学院総合文化研究科
教授/中世文学・能楽研究)「中世の身
心変容技法——能を中心に」、報告
1:木村はるみ(山梨大学准教授/舞
踊学)「神事芸能と身心変容技法」、報
告2:奥井遼「淡路島の人形浄瑠璃と身
心変容技法」、総合討論・司会進行:鎌
田東二。

●1月18日~28日 千石真理研究員が
京都大学ブータン友好プログラム第10次
ブータン訪問団に参加。

●2月16日 こころの未来研究センタ
ー連携MRI研究施設開設記念シンポジ
ウム「脳科学の地平を拓く——こころ
と社会につながる新たな知」(於:稲盛
財団記念館3F大会議室)。開会挨拶:
吉川左紀子、来賓挨拶:澤川和宏

(文部科学省研究振興局学術機関課
長)代読:小坂井克也(文部科学省研
究振興局学術機関課課長補佐)、来賓
挨拶:井村裕夫(元京都大学総長・財
団法人先端医療振興財団理事長)、特
別講演:定藤規弘(自然科学研究機構
生理学研究所)「領域架橋共同研究に於
けるMRIの役割——社会神経科学を例
に」、坂井克之(東京大学大学院医学系
研究科)「ヒト前頭前野と認知制御」、本
田学(国立精神・神経医療研究センター
神経研究所)「感性的質感認知へのイメ
ージングからのアプローチ」、Joan Chiao
(Northwestern University, U.S.A.)
“Cultural neuroscience: Mapping cultural
and genetic diversity in the developing
brain.” Julie Grèzes (Ecole Normale
Supérieure, France) “The interplay
between the limbic and the cortical motor
systems.” Shihui Han (Peking University,
China) “How do we understand and share
others' pain? The effect of social group
relationships”。司会進行:阿部修士。

●2月17日 平成24年度こころを整
えるフォーラム「観阿弥生誕680年・世
阿弥生誕650年記念——観阿弥と世阿
弥の冒険」(於:大江能楽堂)。挨拶:
吉川左紀子、趣旨説明:鎌田東二、基
調講演:観世清和(二十六世観世宗家)
「能の世界と苦悩の表現」、ナビゲータ
ー:鎌田東二。実演:観世清和、舞囃
子「敦盛」。講演:松岡心平「能の発生
とその時代」、鼎談:観世清和+松岡心
平+鎌田東二(司会)「観阿弥生誕680
年・世阿弥生誕650年記念 観阿弥と
世阿弥の冒険:伝統と革新」。

●2月25日 ブータンからの訪問団
(王立ブータン大学、ブータン教育省、
王立ブータン病院からの計7名)がセ
ンターを訪問、教員と交流。

●2月27日 シンポジウム「日本の聖
地文化——相模国一宮寒川神社と延
喜式内社研究」(「癒し空間の総合的研
究」プロジェクト)。第1部『日本の
聖地文化——寒川神社と相模国の
古社』(鎌田東二編著、創元社、2012

年3月刊)からの提言]。話題提供者:
原田憲一(前京都造形芸術大学教授・
現在NPOシンクタンク京都自然史研
究所特別研究員/地球科学)、中野不
二男(JAXA主幹研究員・京都大学宇宙
総合学ユニット特任教授/宇宙人文
学)、五反田克也(千葉商科大学准教授
/花粉分析)、湯本貴和(前総合地球環
境学研究所教授・現在京都大学霊長類
研究所教授/生態学)、河角龍典(立命
館大学文学部准教授)、司会進行:鎌田
東二。第2部 総合討論「日本の聖地
文化と寒川神社と延喜式内社研究」、コ
メンテーター:加藤迪夫(寒川神社方徳
資料館副館長・寒川神社禰宜)+話題提
供者。

●3月1日・2日・3日 2012年度こ
ころの科学集中レクチャー「こころの
謎——社会生態学のアプローチと脳神
経科学からの挑戦」(於:稲盛財団記
念館3階中会議室・大会議室)。講師:
山岸俊男(玉川大学脳科学研究所脳科
学研究センター教授/社会心理学・実
験心理学)、北山忍(ミシガン大学心理
学部教授、文化・認識プログラム所長
/文化心理学・文化神経科学)、大石繁
宏(バージニア大学心理学部教授/社
会心理学・人格心理学・幸福感)。3
月3日のプログラムは特定領域研究「実
験社会科学——実験が切り開く21世紀
の社会科学」文化班によるシンポジウム
との共同開催。講演:Steven J. Heine
(University of British Columbia)
“Positive Self-Views, East and West”、
講演:石井敬子(神戸大学)「文化的価
値の維持と個人の選好」、内田由紀子
「グローバル化する日本における幸福」、
ディスカッション。

●3月20日 京都幸福会議2013(主
催:京都市、京都経済同友会、共催:
こころの未来研究センター他。於:立
命館大学朱雀キャンパス)に吉川左紀
子センター長と内田由紀子准教授が参
加。